

▼INDEX▼

■【内部監査情報】
・ミニ情報「書面及びオンラインによる監査の実施方法について」
■【監事監査情報】
・「令和3年度監事監査計画」について。
■【監査ニュース】
・著作権の補償金制度本格化　大学　学生１人年 720 円
　　オンライン授業など対象　権利者に還元する仕組み課題 【4/1 日刊工業新聞】 外 15 件
■【Audit Cafe】
・選択と集中

表題写真：七北田ダム河畔のテントウムシ

内部監査情報

・ミニ情報　「書面及びオンラインによる監査の実施方法について」

例年、「競争的資金の監査」は 7 月～8 月、「標準会計監査」は 12 月～1 月に実施しておりますが、令和2年度はコロナ禍ということで2つの監査を1つにまとめて「競争的資金及び標準会計監査」という形で実施させていただきました。コロナ禍のため対面で実施することが困難であったことから、書面及びオンラインにより実施しましたが、その監査実施方法について簡単にお伝えしたいと思います。

内容は以下の項目で、

① 事務部に対するヒアリング･･･ヒアリング事項リストに回答を記入し、関係資料と併せて提出。
② 研究者に対するヒアリング･･･オンラインヒアリングを行う為、実施希望日と旅費関係資料を提出。
③ 非常勤職員に対するヒアリング･･･オンラインヒアリングを行う為、実施希望日と関係資料を提出。
④ 物品実査･･･物品の写真を撮影し、エクセルデータに貼付のうえ提出。
⑤ 支払等伝票の確認（取引照会含む）･･･支払等伝票及び関係資料の写しを提出。

と、たくさんの資料をご準備いただきました。依頼させていただいた部局の皆さま、お忙しい中ご対応いただきありがとうございました。

コロナ禍での内部監査は、従来とは異なった監査方法で皆様のご協力のもと実施いたしましたが、新型コロナウイルス感染症がいまだ収束しないことから、令和 3 年度の内部監査も昨年度と同様に書面やオンラインを活用し、実施いたします。引き続き、ご理解とご協力を賜りますようどうぞよろしくお願いいたします。

【内部監査計画・報告】の詳細は、コチラ↓

http://www.bureau.tohoku.ac.jp/audit/2-2index.html

監事監査情報

・「令和3年度監事監査計画」について。

監事監査は、本学監事監査規程で定める「本学の業務運営状況、業務執行状況及び会計処理状況の実態を把握し、関係法令等に基づく適正な執行状況等について監査することにより、本学の業務の適切かつ効率的な運営を確保すること」を目的とし、実施するものです。
（監事監査実施の具体的な内容については、令和2年6月23日発行のおうでぃっとめーるにおいても説明しておりますので、ご参照ください。）

「令和3年度監事監査計画書」は、4月12日に総長に提出し、5月11日開催の運営企画会議及び5月18日開催の部局長連絡会議で報告しております。

第3期中期目標・中期計画期間の6年目であり、最終年度となる今年度は、文部科学省が掲げる「国立大学改革プラン」の位置付けにおいて、改革加速期間からの継続・発展の時期であり、第3期中期目標・中期計画「持続的な“競争力”を持ち、高い付加価値を生み出す国立大学へ」に向かって取組を加速させ、次の第4期中期目標・中期計画を見据えた重要な実施の時期となっています。

令和3年度は、上記の状況及びこれまでに公表されている通知等を参考に、本学の業務執行状況について、より適切・的確な監事監査を実施することとして、以下の監査事項及び重点事項としました。

（1）業務全般

	重点事項
①	第3期中期目標及び事業年度計画の実施状況等について
②	内部統制システムの運用状況について
③	公的研究費の不正使用防止及び研究活動における不正行為防止に対する対応状況について
④	監事監査における監事意見への対応状況のフォローアップについて
⑤	その他

①②の重点事項は、国立大学法人法施行規則及び国立大学法人等監事協議会「監事監査に関する指針」に基づき、本学での実施、運用状況について監査します。

③の重点事項は、文部科学省の「研究機関における公的研究費の管理・監査ガイドライン」及び「研究活動おける不正行為への対応等に関するガイドライン」に基づき、本学での対応状況について監査します。

④の重点事項は、従前の監事監査に対するフォローアップを行い、監事監査の有効性の確保を目的としています。

このほか、出資事業（東北大学ベンチャーパートナーズ株式会社）及び病院の運営状況等については、重点事項としていませんが、通常の業務の中で監査することとしております。

各監査項目に関連する本学の運営状況及び検討状況等を勘案し、効果的な監査となるよう、通年の中で実施します。

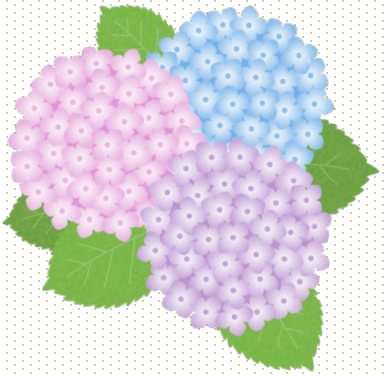
（2）決算監査

決算監査は、本学が作成した貸借対照表、損益計算書、利益の処分又は損失の処理に関する書類その他文部科学省令で定める書類及びこれらの附属明細書、事業報告書（会計に関する部分に限る。）及び決算報告書について監査することとしております。

決算監査は、令和3年度決算終了後の令和4年6月に実施します。

監査を実施する際には、質問事項を作成してお願いすることとしております。

みなさまのご協力をお願いいたします。



【監事監査計画書】の詳細は、コチラ↓

http://www.bureau.tohoku.ac.jp/audit/2-2index.html

監 査 ニ ュ ー ス

・著作権の補償金制度本格化　大学　学生 1 人年 720 円
　オンライン授業など対象　権利者に還元する仕組み課題 【4/1　日刊工業新聞】
・東北・新潟の国公立 9 大学　研究事業化、共同で助成
　AI など先進分野　来月にも公募 【4/7　日本経済新聞】
・東北大・日赤と協定　七十七銀、遺産の寄付巡り 【4/8　日本経済新聞】
・東北大ファンドに七十七銀が出資 【4/8　河北新報】
・東北大にチャットボット　英語・中国語も順次対応　NEC 【4/13　日刊工業新聞】
・大学入学共通テスト　大学の手数料 2 倍に　大幅赤字、収支改善図る 【4/13　日本経済新聞】
・国立大交付金に新基準　文科省方針　「社会貢献」で増額 【4/16　読売新聞】
・仙台市　スーパーシティ応募　5 分野で先端サービス 【4/17　河北新報】
・公務員志願者減　働き方改革急務　官房長官 【4/20　読売新聞】
・大学研究、年功序列打破を　財制審、若手登用促す 【4/22　日本経済新聞】
・サイバー攻撃　三菱電機や慶応大も　幅広く情報狙う 【4/22　河北新報】
・大学飛び入学に「高卒資格」 再生会議提言へ　制度利用後押し
　英才発掘・育成に期待 【4/25　日本経済新聞】

・外国からの研究資金　虚偽申告で助成制限　政府が指針 【4/26 日本経済新聞】
・早大、CFO（最高財務責任者）人材養成　米ファンド幹部ら講師
　　財務部長級 50 人募集 【4/27 日本経済新聞】
・一気飲み死「大学が放置」 同志社大合宿　学生の母提訴　京都地裁 【4/28 毎日新聞】
・慶大生　大麻譲渡疑い　NY 高生徒ら 4 人も逮捕 【4/28 産経新聞】

Audit Cafe

毎月、監査室のスタッフが交代で「つぶやく」このコーナー！
今回のつぶやきは、「選択と集中」と言うお題のようです。
いったいどんな話になることやら・・・。

選択と集中という言葉に対して、皆さんは、どういったイメージを抱かれるでしょうか。経営戦略の一つとして、どこかで耳にしたことがあるという方もいらっしゃるのではないでしょうか。今月のおうでぃっとめーるは、連載企画が休載ということもありまして、この選択と集中という言葉に着想を得て、業務処理の観点から、「選択と集中」について、綴らせていただきたいと思います。

現在、本学においては各種業務のデジタル・トランスフォーメーション（DX）が進められています。一気呵成に移行することができると望ましいですが、依然として業務の過程で地道な確認を要するものもあることと思います。そうした業務の中には、取り違えることの許されない機微情報を扱うものも含まれると推察するところです。

日々の実務対応が少ない監査室にいる者がお伝えすること自体、説得力を伴わないことは、重々承知しておりますが、限られた時間と人員の中、諸々を飲み込みながら、地道で欠かすことのできない業務過程を、しっかりと見極め（選択し）、集中して業務にあたる姿は尊いという思いを強く抱く今日この頃です。

（監査室　深沢）

最後までお読みいただきまして誠にありがとうございました。
引き続き、「おうでぃっとめーる」をどうぞよろしくお願い申し上げます。
バックナンバーは、監査室 WEB ページをご覧ください。

◆その他、各種お問い合わせは…

【電話でのお問い合わせ】
東北大学監査室
022-217-4874（監査室長：石垣）
022-217-5680，4880（菅野、小原、深沢、武田、早坂）

【メールでのお問い合わせ】
東北大学監査室
kansa@grp.tohoku.ac.jp



メールマガジンの一部または全部を無断転載することを禁止します。
© 2010 Audit Office Tohoku University